

学び続けよう、 次代を担う子供のために

－令和5年度東京都教員研修計画－

令和5年3月
東京都教育委員会

はじめに

私たちは、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化する「予測困難な時代」を生きています。このような時代において、社会環境の変化に適切に対応し、一人一人が多様な幸せを実現できる力を全ての子供たちに育む学校教育の役割は一層重要となっています。

東京都では、都政の政策全般を子供目線で捉え直し、政策を総合的に推進する体制を構築するため、「子供政策連携室」を設置し、子供に関わる複合的な課題に対応するとともに、多様な主体と連携し、福祉や教育の枠組みに捉われない幅広い視点で先進的な事業を展開しています。

また、東京都教育委員会は、「T O K Y Oスマート・スクール・プロジェクト」を推進するなど、東京の強みを生かして、子供たち一人一人に着目した質の高い学びを実現するために、新たな「東京型教育モデル」の実践を進めているところです。

学校教育には、子供たちがこれからの時代に対応できる力を育むことが求められており、その役割を果たすためには教員の資質・能力の向上が欠かせません。東京都では、ベテラン教員の大量退職に伴う若手教員の大量採用が続き、経験豊かな教員の指導技術の継承が難しくなっている現状があります。また、教師のICT活用指導力など、時代の変化に対応して求められる資質・能力もあり、これまで以上に組織的、計画的な人材育成を行うことが求められています。

国においては、令和4年5月に「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」を公布し、教育委員会による教師の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導・助言等の仕組みを速やかに実現するよう示しました。

東京都教育委員会では、これまでにも「東京都教員研修計画」の策定や「東京都教員人材育成基本方針」の活用などを進めて各教職員の計画的な育成を図ってきたところですが、今般の法改正を踏まえ、校長の役割の明確化、校内研修の体制整備、研修履歴の活用などを、より一層推進していくため、令和5年2月、「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を改定しました。

令和5年度の「東京都教員研修計画」は、この指標を踏まえて作成したものです。本研修計画では、人材育成に関する取組を「OJT」、「Off-JT」、「自己啓発」の三つの手段の目的や意義について整理し、教員研修を総括しています。各学校では、指標や本研修計画を自己申告の面接等の機会に活用し、校長・副校長はもちろん、教員一人一人が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、計画的に研修や自己啓発に取り組んでいただくことを期待しています。

また、各区市町村教育委員会におかれましては、指標や本研修計画を踏まえた研修を企画・運営するなどして、教員のキャリアに応じた人材育成の推進をお願いします。

令和5年3月
東京都教育委員会

目 次

1 「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」について	1
2 教員の人材育成について	
（1）研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励	9
（2）教員の人材育成の全体像	11
（3）「OJT」について	12
（4）「Off-JT」について	12
（5）「自己啓発」について	12
3 教員研修計画の活用について	
（1）教員の学びを子供の指導につなげる	13
（2）「マイ・キャリア・ノート」及び「研修受講申込受付システム」を活用した研修計画作成の支援	14
（3）「マイ・キャリア・ノート」及び研修受講申込受付システムのログイン方法	15
4 職層別教員研修計画	
（1）教員研修計画「教諭」（1年目～3年目）	16
（2）教員研修計画「教諭」（4年目～）	18
（3）教員研修計画「養護教諭」（1年目～3年目）	20
（4）教員研修計画「養護教諭」（4年目～）	22
（5）教員研修計画「栄養教諭」	24
（6）教員研修計画「主任教諭」	26
（7）教員研修計画「主任養護教諭」	28
（8）教員研修計画「主任栄養教諭」	30
（9）教員研修計画「指導教諭」	32
（10）教員研修計画「主幹教諭、主幹教諭（養護）、主幹教諭（栄養）」	34
（11）教員研修計画「教育管理職候補者」	36
（12）教員研修計画「教育管理職」（副校長）	38
（13）教員研修計画「教育管理職」（校長）	40
5 自己啓発についての参考資料	
（1）教員及び教育管理職としての専門性向上に関するもの	42
（2）東京都職員としての資質向上に関するもの	43
（3）東京都教職員研修センターでの自己啓発の支援に関するもの	43
（4）その他	43

1 「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」について

教員の資質の向上に関する指標は、教育公務員特例法に基づき、公立の小学校等の教員の任命権者が、文部科学大臣が定めた指針を参酌し、その地域の実情に応じて策定するものです。

東京都教育委員会では、令和4年8月に改正された国の指針を踏まえ、指標を改定しました。

東京都公立学校の教員には、東京都の教育に求められる教師像が教員としての普遍的な資質の素地であることを踏まえ、成長段階に応じて求められる役割や身に付けるべき力等を自覚し、生涯にわたって資質の向上に努めることが求められます。

「未来の東京」に生きる子供の姿

- ◆ 自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる
 - ◆ 他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する
- （東京都教育施策大綱 令和3年3月）

東京都の教育に求められる教師像

●教育に対する熱意と使命感をもつ教師

- ・ 子供に対する深い愛情
- ・ 教育者としての責任感と誇り
- ・ 高い倫理観と多様に配慮した人権意識

●豊かな人間性と思いやりのある教師

- ・ 温かい心、柔軟な発想や思考、創造性
- ・ 幅広いコミュニケーション能力

●子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師

- ・ 常に学び続ける意欲
- ・ 一人一人のよさや可能性を見抜く力
- ・ 教科等に関する高い指導力

●組織人として積極的に協働し互いに高め合う教師

- ・ 経営参画への意欲、協働性
- ・ 高い志とチャレンジ精神
- ・ 自他の安全を守る危機管理能力

教諭

主任教諭

指導教諭

主幹教諭

主幹教諭
(管理職候補)

副校長

校長

教員が身に付けるべき力

学校マネジメント能力

公教育に携わる者として磨き続けるもの

教職に必要な素養

教員が身に付けるべき力

学習指導力

生活指導力・進路指導力

外部との連携・折衝力

学校運営力・組織貢献力

学校マネジメント能力

学校経営力

外部折衝力

人材育成力

教育者としての高い見識

特別な配慮や支援を必要とする子供への対応

デジタルや情報・教育データの利活用

教育課題に関する対応

東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標 ～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員						教育管理職等				
職層・成長段階	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	職層	教育管理職候補		教育管理職	
	基礎形成期 1～3年目	伸長期 4年目～	充実期 9年目～	11年目～			主幹教諭	副校長	校長	
求められる役割や能力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、生活指導や学級経営において直面する課題に対して、適切に対応する。 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。 自分の能力開発について謙虚に自己研さんし、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。 教育指導の専門性を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 都立公立学校教員全体の授業力の向上を図る。 高い専門性と優れた指導力を活用し、自校や他校の教員の人材育成を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。 	求められる役割	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。 教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。 学校内外との良好なコミュニケーションを實踐し、学校の教育力を高める方策を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を運営する。 教職員の状況変化に敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を構築し、推進する。 学校内外とのコミュニケーションの中心的役割を担い、学校の教育力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。 教職員の状況を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。 学校内外との良好なコミュニケーションを推進して、学校とより多く関係者の相互作用により、学校の教育力を最大化する。 	
公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」など										
職層・成長段階	教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	職層	教育管理職候補		教育管理職	
	基礎形成期 1～3年目	伸長期 4年目～	充実期 9年目～	11年目～			主幹教諭	副校長	校長	
教員が身に付けるべき力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程に基づき教育活動の向上を図ることの意義を理解し、ねらいに適した指導計画と評価計画の作成及び学習指導をすることができる。 児童・生徒の学習の状況や指導計画・評価計画を振り返り、授業改善を図ることができる。 児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を行うことができる。 教材の研究及び実践に努め、各教科等の専門的知識を身に付けるとともに、授業に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通じた自己実現を図る指導を行うことができる。 他学級等の生活指導上の課題について共に相談しながら解決することができる。 教材の研究及び開発に努め実践に生かし、各教科等の専門的知識を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、学習者中心の授業をすることができる。 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 模範となる自らの授業を積極的に公開するとともに、自校や他校の求めに応じて授業を観察し、指導・助言をすることができる。 教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。 	学校経営能力	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。 校務分掌を超えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、管理職に提示することができる。 コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。 様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 緊急時には適切に判断し、課題解決のための中心的役割を担うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。 様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 緊急時には適切に判断し、迅速な対応を行うことにより状況を打開することができる。 	
教職に必要な素養	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の良さや可能性を伸ばしながら、キャリア教育の計画を立てることができる。 生活指導上の課題に直面した際、他の教員に相談しながら解決することができる。 心身の発達過程や特徴を理解し、児童・生徒と信頼関係を構築して、授業や学級の規律を確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通じた自己実現を図る指導を行うことができる。 他学級等の生活指導上の課題について共に相談しながら解決することができる。 児童・生徒と信頼関係を構築して、授業や学級の規律を確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 児童・生徒がもつ個々の思いや悩みを受け止め、自校・学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。 児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもちさせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。 	外部折衝力	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活かして、ための方策を管理職に提案することができる。 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係機関との連携を積極的に進め、校長の助言を受け、適切に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源を積極的に活用し、校長の助言を受け、適切に対応することができる。 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働し、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。 		
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育等に関して身に付け知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言をすることができる。 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、指導力の向上に関する教員の人材育成を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、指導力の向上に関する教員の人材育成を推進することができる。 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期の視点での教員の人材育成を推進することができる。 	高し見識	<ul style="list-style-type: none"> 東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会や教育目標や教育施策を理解し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都教育委員会や所属する区市町村教育委員会や教育目標や教育施策を理解し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編制を行い、組織全体で推進することができる。 	
デジタルや情報・教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。 教育データを活用し、児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の効果的な活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。 教育データを活用し、児童・生徒の学習改善や生活指導に生かすことについて、初任者等に指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に関する、適切な指導計画を作成し授業実践等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言をすることができる。 児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に向けた模範となる授業を実施することができる。 児童・生徒の学習改善を図るために、教育データを活用した授業を提案することができる。 	デジタルや教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> 副校長と共に、授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案することができる。 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を策定し、教職員に示すことができる。 デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。 デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善策を提案することができる。 デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編制を行い、点検・評価し、改善することができる。 		
教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言をすることができる。 	教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的かつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決のための役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的かつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 		

教職に必要な素養

東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標(養護教諭)
～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員					教育管理職等				
職層・成長段階	養護教諭		主任養護教諭	主幹教諭(養護)	職層	教育管理職候補		教育管理職	
	基礎形成期 1～3年目	伸長期 4年目～	充実期 9年目～	11年目～		主幹教諭	副校長	校長	
求められる役割や能力	○養護教諭の職務において直面する諸課題に対して、適切に対応する。	○主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。	○主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。	○管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。	求められる役割	○学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。	○学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。	○学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。	
	○保健管理や保健指導、保健室経営における	○自分の能力開発について謙虚に自己研さんに励み、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。	○専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。	○教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。		○教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。	○教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。	○教職員の状況を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。	
公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」など									
教員が身に付けるべき力	学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、各教科主任や学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を適切に行うことができる。	児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。	同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。	年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。	学校マネジメント能力	学校経営能力	学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。	学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。	学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
	他の教員と連携し、健康相談や心身の健康観察、情報収集を行いながら、児童・生徒理解を深めることができる。	校内支援体制の充実を図り、個別の保健指導や健康相談を行いながら、児童・生徒と信頼関係を構築することができる。	児童・生徒がもつ個々の思いや悩みを察し止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。	児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。			コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。	様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。	様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。
	生活指導上の課題に直面した際、管理職等に報告し、関係者と相談しながら解決することができる。	学年や学級の生活指導上の課題について共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりすることができる。	自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。	児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善案を提案し、実行することができる。			保護者や地域、関係機関等との連携により、緊急時には適切に判断し、迅速な対応を行うことができる。	緊急時には適切に判断し、迅速な対応を行うことにより状況を打開することができる。	
	健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。	健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。	関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどとして、円滑な関係を築くことができる。	他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。			保護者や地域、関係機関等の意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。	保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進め、校長の助言を受け、適切に対応することができる。	多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。
	課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。	情報発信や広報、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。	自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。	保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。			授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。	校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。	教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やJIT等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。
学校及び教職の意義、社会的役割・職務の厳正に努め、組織の一員として、学校保健計画の策定など校務に積極的に参画することができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。	学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。			
保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。	学校の状況や児童・生徒の実態を踏まえて保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。	学校の健康課題を解決するために、保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。			
児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。	児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。	児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。	児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。	児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。	児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。	児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。			
特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。	特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。	多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方策を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。	主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。	特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。	特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。	特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。			
特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。	特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。	特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。	特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。	特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。	特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。	特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。			
デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康状態の把握・分析や保健管理を効果的・効率的に進めることができる。	デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康状態の把握に役立てることができる。	デジタル技術を適切に活用して児童・生徒の健康課題を把握し、適切な指導計画を作成して保健指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。	デジタル技術の効果的な活用等に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の育成に向けた学校全体での体系的な指導を推進することができる。	副校長と共に、授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案することができる。	授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案し、教職員に示すことができる。	学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。			
教育データや保健室の情報を活用し、児童・生徒の健康上の課題を見だし、保健教育に生かすことができる。	児童・生徒の健康上の課題を見だし、保健教育に生かすために、教育データや保健室の情報の活用について、初任者等に指導・助言することができる。	児童・生徒の学習改善を図ったり、保健教育や生活指導に生かすための教育データの活用方法を提案することができる。	教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。	校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。	デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。	デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編成を行い、点検・評価し、改善することができる。			
教育課題に関する法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。	教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。	教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。	教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的な方策の実現性の高い解決策を提案し、組織的に解決の中心的役割を果たすことができる。	教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的な方策の実現性の高い解決策を提案し、組織的に解決の中心的役割を果たすことができる。	学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的な方策の実現性の高い解決策を提案し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。			
教育課題に関する対応	教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。	教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。	教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。	教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的な方策の実現性の高い解決策を提案し、組織的に解決の中心的役割を果たすことができる。	教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的な方策の実現性の高い解決策を提案し、組織的に解決の中心的役割を果たすことができる。	学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的な方策の実現性の高い解決策を提案し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。			

**東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標(栄養教諭)
～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～**

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員				教育管理職等			
職層・成長段階	栄養教諭 基礎形成期・伸長期 1年目～	主任栄養教諭 充実期 3年目～	主幹教諭(栄養)	職層	教育管理職候補 主幹教諭	副校長	教育管理職 校長
	求められる役割や能力	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する指導を推進するとともに、学校栄養職員としての知識や経験に基づき、同僚や教諭等、及び地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。 食に関する指導や学校給食の管理における栄養教諭としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。 専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行い、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担うことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。 	求められる役割	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。 教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて多参する。 学校内外との良好なコミュニケーションを実践し、学校の教育力を高める方策を提案する。

公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」など

職層・成長段階	栄養教諭 基礎形成期・伸長期 1年目～	主任栄養教諭 充実期 3年目～	主幹教諭(栄養)	職層	教育管理職候補 主幹教諭	副校長	教育管理職 校長
	教職に必要な素養	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解することができる。 学級担任等と連携し、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行い、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に応じることができる。 学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識・技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 専門的な知識・技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。 地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うとともに、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。 	学校経営能力	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。 校務分掌を越えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、管理職に提示することができる。 コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。 特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。 	特別な配慮や支援への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実に図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編成を行い、組織的に推進することができる。
デジタルや情報・教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の食に関する指導や学校給食の管理を効果的・効率的に進めることができる。 教育データを活用し、児童・生徒の食育や生活指導に生かしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を適切に活用して児童・生徒の食に関する課題を把握し、適切な指導計画を作成して食に関する指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。 児童・生徒の学習改善を図ったり、食育や生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の効果的な活用等に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の育成に向けた学校全体での体系的な指導を推進することができる。 教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。 	デジタルや教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> 副校長と共に、授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を提案することができる。 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるデジタルの活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を策定し、教職員に示すことができる。 デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。 デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編成を行い、点検・評価し、改善することができる。
教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に向けて指導・助言することができる。 	教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的かつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的かつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき課題や優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。

下の表は、教員について、前頁の指標にあげた「教育課題に関する対応」の主な項目について具体的な内容を示しました。これらは、様々な教育課題の中から、東京都教育施策大綱、東京都教育ビジョン等に基づき、これからの東京都の学校教育を推進していく教員に求められる内容を示しています。

教育課題	教員に求められる具体的な内容
人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人一人の人権に配慮した指導を通して、自他の人権を大切にしようとする児童・生徒を育成できる。 ・児童・生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、偏見や差別意識を解消しようとする態度と実践力を育む指導ができる。
道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に、他者への思いやりや、かみかえのない生命を大切にする気持ちを育むことができる。 ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を、児童・生徒自らが考え、議論し、行動しながら身に付けられる指導ができる。 ・保護者や地域等と連携し、児童・生徒の豊かな心の育成を図ることができる。
グローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に、異なる言語や文化、価値を乗り越えて、新しい価値を創造する力を身に付けさせることができる。 ・コミュニケーション力、異文化への理解、国際社会に生きるために必要なアイデンティティの育成を図る教育を行うことができる。
不登校対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒にとって魅力ある学校・学級をつくり、豊かな人間関係を育むことができる。 ・不登校の予兆への対応を含めた段階から組織的かつ計画的な支援ができ、個々の状況に応じた積極的な声掛けや関わりなど、早期支援に取り組むことができる。 ・児童・生徒本人と直接会って状況を把握し、デジタル技術の活用による学習支援等、その児童・生徒に応じた多様な学びの場を提供するなど、安心感を与えることができる。 ・保護者や関係機関と連携を図りながら必要な支援を行い、対応の改善を図ることができる。
いじめ防止、自殺予防等に係る取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応、自殺予防、虐待やヤングケアラー等の早期把握など、児童・生徒の小さな変化に気付き、適切に支援するための具体的な取組を、保護者や地域、関係機関等と連携しながら組織的に推進できる。 ・児童・生徒のSOSを確実に受け止め、適切に支援できる。 ・児童・生徒のSOSを出す力及び周りのSOSに気付く力を育成できる。
学校安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の生活安全、交通安全、災害安全の3領域及び学校における安全教育の目標や内容を踏まえ、児童・生徒に危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を身に付けられるよう指導できる。 ・学校における安全管理について、自校の危機管理マニュアル等を理解するとともに、事件・事故等が発生した際、管理職への報告や、教職員間の情報共有を図るなど、迅速かつ的確に判断し、対応できる。

2 教員の人材育成について

(1) 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

文部科学省は、令和4年8月、「改正教育公務員特例法に基づく公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正等について（通知）」を各都道府県教育委員会に対して通知しました。

この中で、教師の資質向上のための取組の記録が「研修履歴」、資質の向上に関する指導・助言等が「対話に基づく受講奨励」と位置付けられました。

東京都教育委員会では、平成29年度から、教員一人一人が自身の研修履歴を基に、研修計画を主体的に立て、自律的に研修に臨み、資質・能力を生涯にわたって高めていくことを支援するための研修支援システムである、「マイ・キャリア・ノート」を稼働しています。

以下、ア～エは、令和5年度における、「マイ・キャリア・ノート」を活用した場合の記載となりますが、幼稚園及び幼保連携型認定こども園の園長及び教員等につきましては、この項を参考に適切に御対応ください。

なお、令和6年度以降の研修履歴の対象や記録の範囲等については、国の動向を踏まえながら、令和5年度に継続的に検討し、本計画を改定します。

ア 校長等の学校管理職の役割

校長等の学校管理職は、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を通じ、所属教員の人材育成に大きな責任と役割を担っています。

その際、「マイ・キャリア・ノート」を活用することにより、教員が自らの学びを振り返るとともに、管理職等が研修の奨励を含む適切な指導・助言を行うことにより、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発を図ります。

イ 研修履歴の対象となる教員の範囲

対象となる教員の範囲は、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭、主任栄養教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、専修実習助手、実習助手、主任寄宿舎指導員、寄宿舎指導員です。

ウ 研修履歴の記録の範囲及び内容

「マイ・キャリア・ノート」には、東京都教育委員会や区市町村教育委員会等が実施する研修を記録しており、研修名、研修開始・終了日、研修回数、実施主体などが記録されます。

【「マイ・キャリア・ノート」研修履歴画面】

年度	職員番号	現所属	研修番号	研修名	研修開始日	研修終了日	研修回数	修了判定	実施主体
2008 09****93		東京都立水道橋高等学校	1010103	都立高等学校初任者研修	2008/4/1	2009/3/31	1	修了	東京都教育委員会
2010 09****93		東京都立水道橋高等学校	8851701	都立高等学校2・3年次授業研究	2009/4/1	2011/3/31	1	修了	教職員研修センター
2010 09****93		東京都立水道橋高等学校	7842801	ICT学習指導推進者養成研修	2010/8/12	2010/8/12	1	修了	教職員研修センター
2011 09****93		東京都立水道橋高等学校	8851401	中高一貫教育校教員養成研修	2011/4/1	2012/3/31	1	修了	教職員研修センター
2012 09****93		東京都立水道橋高等学校	7841801	諸教育課題	2012/6/13	2012/10/22	1	修了	教職員研修センター
2013 09****93		東京都立水道橋高等学校	5811301	主任教諭任用前研修	2014/1/20	2014/3/11	1	修了	教職員研修センター
2014 09****93		東京都立水道橋高等学校	5811101	主任教諭任用時研修	2014/7/2	2014/7/24	1	修了	教職員研修センター
2015 09****93		東京都立水道橋高等学校	8852201	東京教師道場（部員）	2014/4/17	2016/3/8	1	修了	教職員研修センター

エ 対話に基づく受講奨励の方法・時期

校長は、適切な権限の委任の下で、副校長などとも役割分担しつつ、自己申告における当初面接や最終面接の機会など、適切な時期に、教員の資質向上に関する指導・助言等を行うとともに、副校長に対しては、校長自ら指導・助言等を行います。

また、「マイ・キャリア・ノート」の研修履歴の記録を活用するとともに、「自己申告（職務記録）」の「4 能力開発」や「5 キャリアプラン」欄に、教員自身が自らの学びの方向性等を記入することで、受講奨励等、指導・助言を行います。

以上の「マイ・キャリア・ノート」の研修履歴の記録とは別に、校内研修等、学校現場における組織的かつ日常的な学びや教員個々の自己啓発等に係る学びについては、年間を通じた校内研修の総括の場や面談等の場において、個別に聞き取りながら、学びの状況等を振り返り、教員の資質向上に生かすようにします。

また、教員同士の学び合いの文化を醸成する観点から、例えば、主幹教諭が教諭等と対話に基づく受講奨励を行うことも効果的です。その際、日常的な対話の機会や学年会など、各学校等に適した様々な機会を捉えて実施していくことが大切です。

(2) 教員の人材育成の全体像

教員の人材育成では、「OJT」、「Off-JT」、「自己啓発」の三つの手段があいまってはじめて効果的な育成が可能となります。校長・副校長や主幹教諭等同じ学校に勤務する教員等からの指導はもちろん、教員個人の自己啓発、教員同士の相互啓発も重要です。こうした機運を醸成し、互いに高め合う環境をつくるのが大切です。教員の「自ら育つ」意識を引き出し、成長させていけるよう、経験や職層に応じて身に付けるべき力を提示し、将来の展望を明らかにします。

人材育成を図るためには、研修や学校での実務を通じた学びや教員自らによる学びとの相互の関連が重要です。また、教員は、Off-JTで学ぶ機会を一つの契機として受け止め、OJTの活性化につなげること、そして、Off-JTやOJTで学んだことを生かし、自ら学び、自己を高めることができるよう、自己啓発に励むことが重要です。

本教員研修計画では、教員自らが、職層に応じて求められる力を自覚し、「OJT」、「Off-JT」、「自己啓発」を計画的に実施していくことで、指標に挙げられている目標を達成することができるように示しています(図1)。

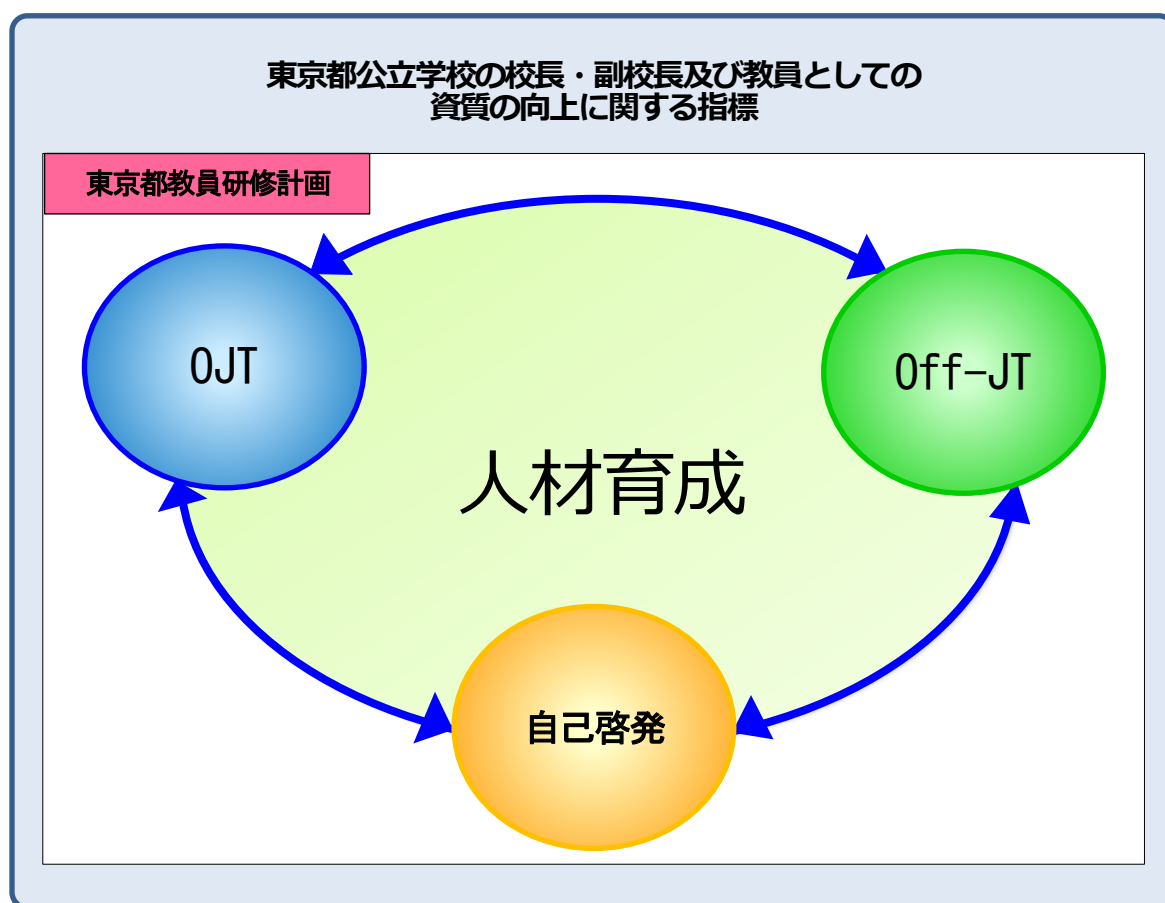


図1

(3) 「OJT」について

「OJT」とは、「On the Job Training」の略で、「日常的な職務を通して、必要な知識や技能、意欲、態度などを、意識的、計画的、継続的に高めていく取組」のことです。

期待される効果としては、いつでも、必要なときに、具体的な指導ができること、個々の具体的な業務に即した指導ができること、受ける側の主体性や積極性を尊重し、それらを伸ばすことができること等があり、日常の業務実践を通じて人を育てるため、今日的課題に対応した人材育成が可能になります。

本教員研修計画では、職層別に、求められる資質・能力を身に付けるための主に校内での具体的な場面や行動例を示しています。

(4) 「Off-JT」について

「Off-JT」とは、職場以外の研修機関等で学ぶ研修のことです。「Off-JT」の項目例としては、東京都教職員研修センター等における職層研修などの集合研修やオンライン研修、教職大学院等への派遣、区市町村教育委員会主催の研修などが挙げられます。

期待される効果としては、幅広い視野を涵養できること、最新・高度な知識や情報を集中的・効率的に収集できること、異なる職層や校種の人々と交流ができることなどが挙げられます。

本教員研修計画では、職層別に、求められる資質・能力を身に付けるための具体的な場面や研修例を示しています。

なお、東京都教職員研修センターが行う研修については、同センターのホームページに研修の一覧や概要が掲載されています。

(5) 「自己啓発」について

「自己啓発 (Self-Development)」は、教員としての資質・能力を向上するために、課題意識をもって様々な研さんと修養に自ら励むことです。

「自己啓発」の項目例としては、自らが興味・関心をもつ教科・領域等について、書物を読んだり、セミナーに参加したり、研修動画を視聴したりすることを通じた自己研さんなどが挙げられます。

期待される効果としては、自己研さんで得られた知識・技能等を児童・生徒の教育やOJTを通じて還元できることが挙げられます。

本教員研修計画では、教員としての資質・能力の向上を図る自己啓発例を示しています。

3 教員研修計画の活用について

(1) 教員の学びを子供の指導につなげる

学習指導要領（平成 29、30、31 年告示）では、各教科等で育成を目指す資質・能力を、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から指導の在り方を見つめ直して授業改善を行い、より質の高い学びの実現を求めています。

さらに、GIGA スクール構想の加速により、各学校における一人 1 台の学習者用端末の活用が進む中、デジタル技術の活用によって「一人一人の力を最大限に伸ばす学びの充実」も求められています。

ア 自分自身を高めるために

教員は常に、自己を向上させ成長し続けていくことが求められます。自分には今どのような力が身に付いているのか、これからどのような力を身に付ける必要があるのか、それらをしっかり見つめ、自己を磨き、高めていくことが期待されます。

以下に、教員研修計画の教員個人の活用例を示します（図 2）。

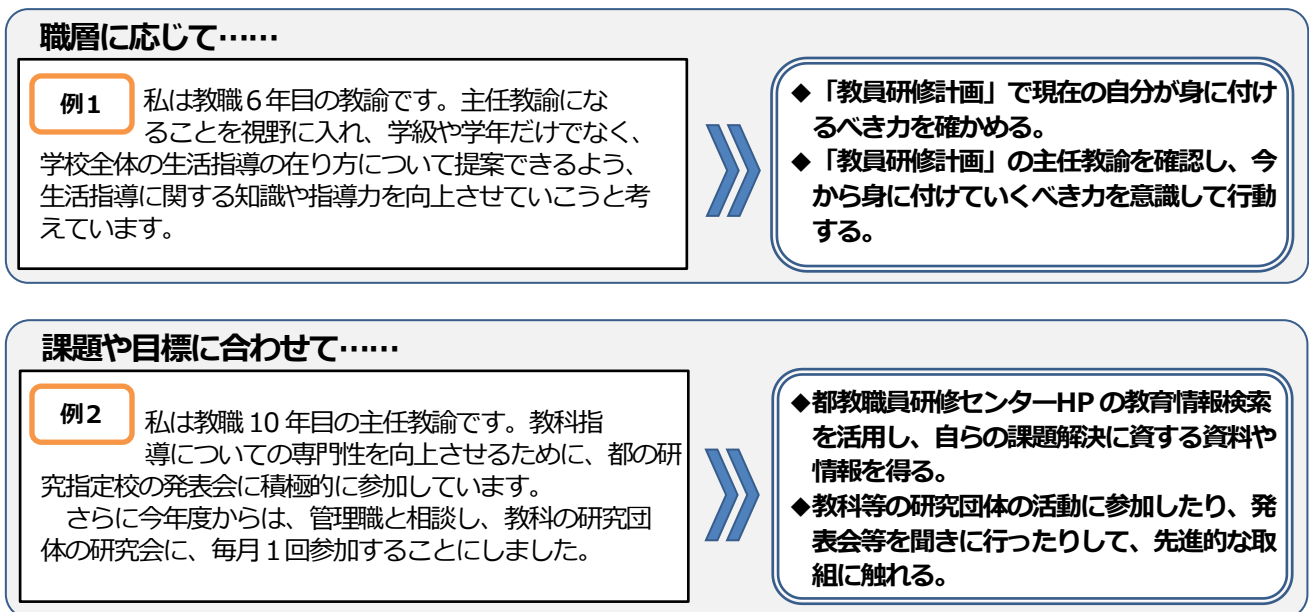


図 2 教員研修計画の教員個人の活用例

イ 組織の力を高めるために

学校全体で教育活動に取り組む組織としての力を向上させるには、各教員の職層や能力、学校としての課題、保護者や地域の願いなどに応じて、計画的に OJT や Off-JT を推進していくことが大切です。管理職を中心に、デジタル技術等を活用しながら、校内研修や研究活動に積極的に取り組むことが求められます。

以下に、教員研修計画の組織としての活用例を示します（図 3）。

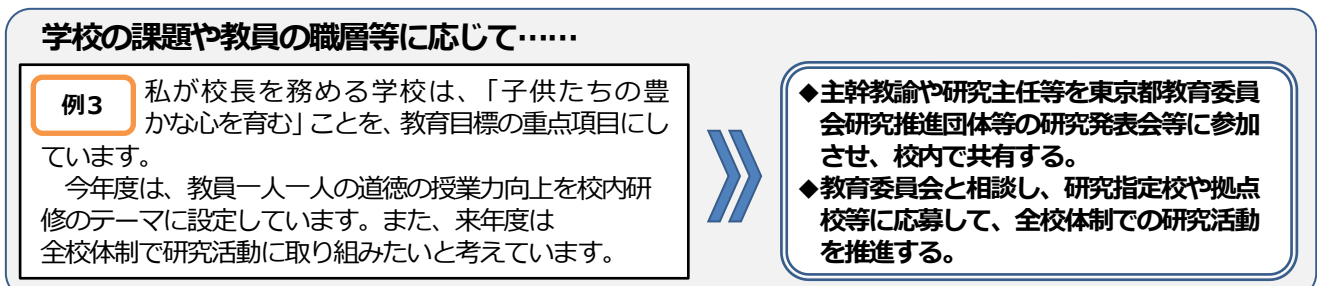


図 3 教員研修計画の組織としての活用例

(2) 「マイ・キャリア・ノート」及び「研修受講申込受付システム」を活用した研修計画作成の支援

「マイ・キャリア・ノート」及び「研修受講申込受付システム」は、教員一人一人が自身の研修履歴を確認し、研修計画を主体的に立てることにより、課題をもって自律的に研修に臨み、時代の変化や自己のキャリアステージで求められる資質・能力を生涯にわたって高めていく力を身に付ける支援を目的としています（図4）。

また、教員が、配信された研修動画を時間、場所を選ばずに視聴することも可能となっています。

教員が自らのキャリアを計画する際に活用するとともに、管理職においても、当該教員に求められる資質・能力を意識させながら、人材育成に取り組み、一人一人の教員の職務遂行能力を向上させ、学校全体として質の高い教育を提供するために活用します。

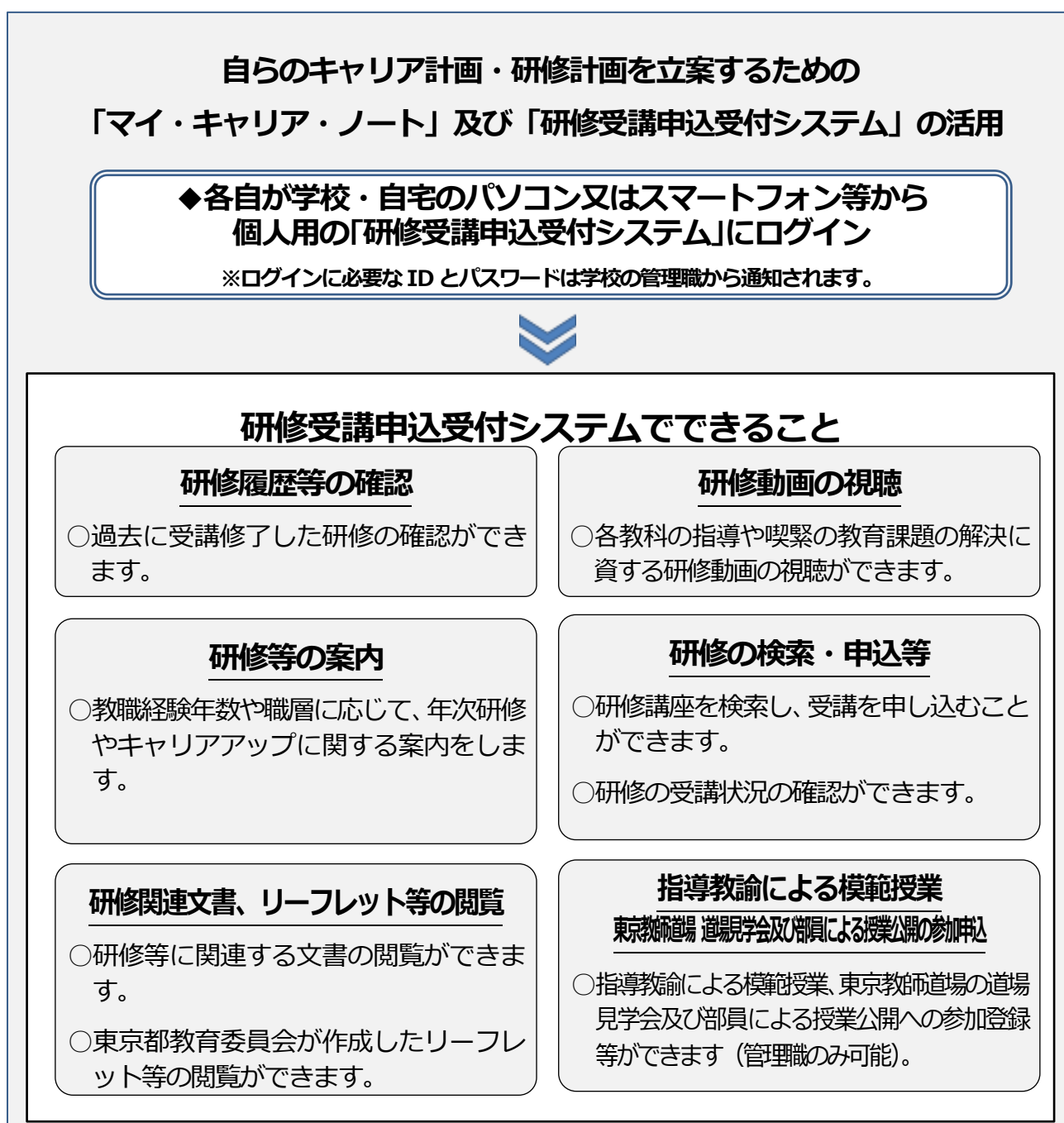


図4 「マイ・キャリア・ノート」及び「研修受講申込受付システム」の活用

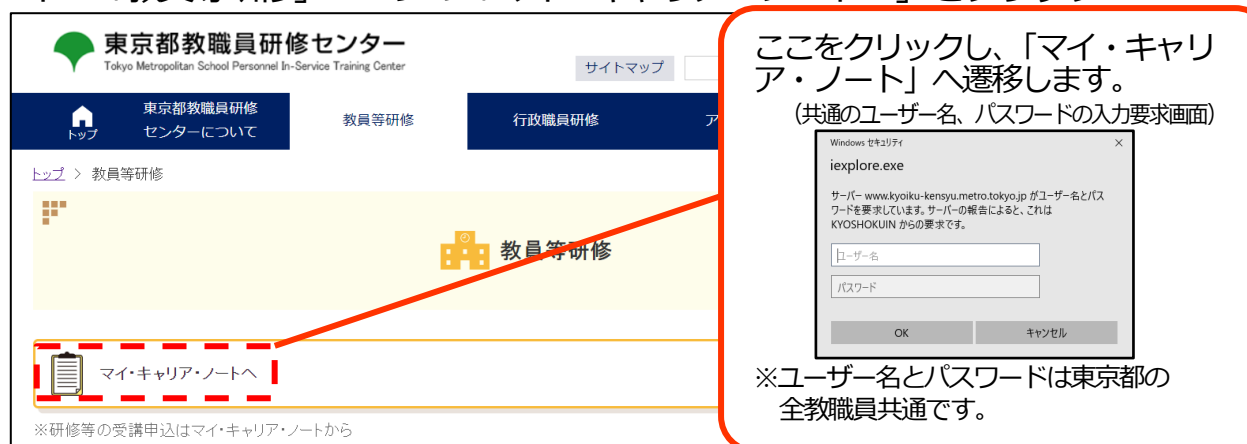
(3) 「マイ・キャリア・ノート」及び研修受講申込受付システムのログイン方法

令和5年3月現在

ア 研修センターホームページの「教員等研修」をクリック



イ 「教員等研修」ページの「マイ・キャリア・ノートへ」をクリック



ウ 「マイ・キャリア・ノート」のトップページにある「研修受講申込受付システム」のボタンをクリック



エ 「研修受講申込受付システム」ログイン後の画面



4 職層別教員研修計画

(1) 教員研修計画「教諭」(1年目～3年目)

求められる能力や役割

- 学習指導、生活指導や学級経営において直面する課題に対して、適切に対応する。
- 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。

指 標	O J T	Off-J T
<p>学習指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに、教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、ねらいに迫るための指導計画と評価計画の作成及び学習指導をすることができる。 ・児童・生徒の学習の状況や指導計画・評価計画を振り返り、授業改善を図ることができる。 ・児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を行うことができる。 ・教材の研究及び実践に努め、各教科等の専門的知識を身に付けるとともに、授業に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭等の授業を参観する。 ・学年や教科等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。 ・校内研究会等の中で、提案したり、意見を述べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、授業づくりの基礎・基本を学ぶ。 ・区市町村教育委員会の研究会や東京都教育委員会研究推進団体等の授業研究に参加する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修 ・専門性向上研修【I】
<p>生活指導力・進路指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の良さや可能性を伸ばしながら、キャリア教育の計画を立てることができる。 ・生活指導上の課題に直面した際、他の教員に相談しながら解決することができる。 ・心身の発達の過程や特徴を理解し、児童・生徒と信頼関係を構築して、授業や学級での規律を確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導主任や進路指導主任等による講義や助言を受ける。 ・学年や分掌等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。 ・生活指導に関する会議等で提案したり、意見を述べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、生活指導や進路指導の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修 ・専門性向上研修【I】
<p>外部との連携・折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等の進め方を理解し、保護者と良好な人間関係を構築することができる。 ・課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員等から連携や折衝の方法等について指導・助言を受けながら業務を遂行する。 ・保護者面談等の機会に学年主任に同席し、実際の対応の仕方について知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、保護者対応の基本や連携の際の接遇マナーの基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修 ・専門性向上研修【I】
<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校及び教職の意義、社会的役割・サービスの厳正に努め、組織の一員として校務に積極的に参画することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の部会等で、主任教諭や指導教員等から進行計画の立案や進捗状況の報告、振り返りなどの指導や助言を受けながら業務を遂行する。 ・校務分掌の部会等で、自分の 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、計画的な業務の進め方の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修 ・専門性向上研修【I】

<ul style="list-style-type: none"> ・担当する分掌の職務及び役割を理解し、適切に対応して校務を処理することができる。 ・児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<p>担当した職務について、指導を受けながら、校務に参画する。</p>	
<p style="text-align: center;">特別な配慮や支援を必要とする 子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、特別支援教育の基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 ・若手教員育成研修
<p style="text-align: center;">デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。 ・教育データを活用し、児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について主任教諭や指導教員等の授業を参観する。 ・主任教諭や指導教員等から助言を受け、教育データの活用方法を確認するなどし、児童・生徒の指導・支援のための知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、デジタル技術の活用等の基礎・基本や具体的な方策について学ぶ。 【研修例】 ・若手教員育成研修
<p style="text-align: center;">教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員等から助言を受け、教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして、課題に対する知見をもって主体的に対応できるように知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修等で、教育課題の理解に関する基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 ・若手教員育成研修 ・専門性向上研修【1】

(2) 教員研修計画「教諭」(4年目～)

求められる能力や役割

- 主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。
- 自分の能力開発について謙虚に自己研さんに励み、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。

指 標	OJT	Off-JT
<p>学習指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに、教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、ねらいに迫るための指導計画と評価計画の作成及び学習指導をすることができる。 ・児童・生徒の学習の状況や指導計画・評価計画を振り返り、授業改善を図ることができる。 ・児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を行うことができる。 ・教材の研究及び開発に努め実践に生かし、各教科等の専門的知識を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究等において、学習指導要領の趣旨や指導のねらいを踏まえ、積極的に発言する。 ・校内研究等において、他教科の教員と指導方法等を共有し合えるよう、提案する。 ・専門としている教科等について若手教員に指導や助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、授業づくりの基礎・基本を学ぶ。 ・区市町村教育委員会の研究会や東京都教育委員会研究推進団体等の授業研究に参加し、発表する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京教師道場(部員) ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>生活指導力・進路指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通じた自己実現を図る指導を行うことができる。 ・他学級等の生活指導上の課題について共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりすることができる。 ・心身の発達の過程や特徴を理解し、児童・生徒と信頼関係を構築して、授業や学級での規律を確立することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の生活指導・進路指導上の課題に気付き、会議等で問題提起する。 ・他学年や他の学級の生活指導上の課題について、情報共有したり、共に対応したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、個に応じた指導や組織的な対応の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>外部との連携・折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信や広報、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。 ・他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会や校務分掌等で、担当として、外部機関との情報共有を行ったり、外部機関との連携を図ったりする。 ・外部機関との取組についての課題や改善策を会議等で提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、適切な情報発信や情報収集の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。 ・児童・生徒の安全に関する知識、思考 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の中で責任者となる役割を担い、若手教員に指導・助言をする。 ・担当する校務分掌の課題や改善策等を会議等で提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、計画的な業務の進め方の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修

<p>力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・東京都教員研究生
<p style="text-align: center;">特別な配慮や支援を必要とする 子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育の基礎・基本を学ぶ。 〔研修例〕 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p style="text-align: center;">デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の効果的な活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。 ・教育データを活用し、児童・生徒の学習改善や生活指導に生かすことについて、初任者等に指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について積極的に取り組み、提案する。 ・教育データを活用し、児童・生徒の指導・支援について提案するとともに、若手教員に指導・助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、デジタル技術の活用等の基礎・基本や具体的な方策について学ぶ。 〔研修例〕 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p style="text-align: center;">教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、会議等で課題解決のための提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題の解決に向けた具体的な方策に関する基礎・基本を学ぶ。 〔研修例〕 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生

(3) 教員研修計画「養護教諭」(1年目～3年目)

求められる能力や役割

- 養護教諭の職務において直面する諸課題に対して、適切に対応する。
- 保健管理や保健指導、保健室経営における養護教諭としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。

指 標	OJT	Off-JT
学習指導力・保健管理に関する力 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、各教科主任や学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を適切に行うことができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会等の中で、養護教諭の専門性を生かした提案をしたり、意見を述べたりする。 ・指導教諭等、他の教員の授業を参観する。 ・学級担任等と連携して保健指導や保健の授業に参画する。 ・管理職や指導教員等から保健管理について指導・助言を受けながら業務を遂行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭)等で、保健教育の指導方法及び保健管理等の基礎・基本を学ぶ。 ・区市町村教育委員会の研究会や、東京都教育委員会研究推進団体等の研究会に参加する。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭) ・専門性向上研修【I】
生活指導力・進路指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・他の教員と連携し、健康相談や心身の健康観察、情報収集を行いながら、児童・生徒理解を深めることができる。 ・生活指導上の課題に直面した際、管理職等に報告し、関係者と相談しながら解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導主任や進路指導主任等による講義や助言を受ける。 ・校務分掌の部会等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭)等で、健康相談や教育相談の内容・方法の基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭) ・専門性向上研修【I】
外部との連携・折衝力 <ul style="list-style-type: none"> ・健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。 ・課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員等から連携や折衝の方法等について指導・助言を受けながら業務を遂行する。 ・保護者や関係機関等との面談に同席し、実際の対応の仕方について知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭)等で、保護者対応や地域、関係機関との連携の際の接遇マナーの基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭) ・専門性向上研修【I】
学校運営力・組織貢献力 <ul style="list-style-type: none"> ・学校及び教職の意義、社会的役割・サービスの厳正に努め、組織の一員として、学校保健計画の策定などの校務に積極的に参画することができる。 ・保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。 ・児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の部会等で、分掌主任等から進行計画の立案や進捗状況の報告、振り返りなどの指導や助言を受けながら業務を遂行する。 ・校務分掌の部会等で、自分の担当した職務について、指導を受けながら、校務に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭)等で、保健室経営等について計画的な業務の進め方の基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(養護教諭) ・専門性向上研修【I】

<p style="text-align: center;">特別な配慮や支援を必要とする 子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（養護教諭）等で、特別支援教育の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（養護教諭）
<p style="text-align: center;">デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康状態の把握・分析や保健管理を効果的・効率的に進めることができる。 ・教育データや保健室の情報を活用し、児童・生徒の健康上の課題を見だし、保健教育に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について主任教諭や指導教員等の授業を参観する。 ・健康観察の充実や健康診断データの管理など、教育データや保健室を活用した保健管理について先輩教員から学んだり、グループで協議したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（養護教諭）等で、デジタル技術の活用等の基礎・基本や具体的な方策について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（養護教諭）
<p style="text-align: center;">教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員等から助言を受け、教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして、課題に対する知見をもって主体的に対応できるように知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（養護教諭）等で、教育課題への対応についての基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（養護教諭） ・専門性向上研修【I】

(4) 教員研修計画「養護教諭」(4年目～)

【養護教諭(4年目～)】

求められる能力や役割

- 主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。
- 自分の能力開発について謙虚に自己研さんに励み、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。

指 標	OJT	Off-JT
<p>学習指導力・保健管理に関する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、各教科主任や学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を適切に行うことができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会等の中で、養護教諭の専門性や保健室経営の視点から、児童・生徒の特性を生かした提案をしたり、意見を述べたりする。 ・国や社会の動きを踏まえ、学級担任等と連携して保健指導や保健の授業に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、保健教育の指導方法及び保健管理等の基礎・基本を学ぶ。 ・区市町村教育委員会の研究会や、東京都教育委員会研究推進団体等の研究会に参加し、発表する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>生活指導力・進路指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内支援体制の充実を図り、個別の保健指導や健康相談を行いながら、児童・生徒と信頼関係を構築することができる。 ・学年や学級の生活指導上の課題について共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の生活指導上の問題等を踏まえ、外部専門家と連携を図るなどしながら、個に応じた保健指導や相談活動を行う。 ・スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーター等と連携を図り、教育相談的な対応の充実を図るなどして、一人一人の特性に応じた対応が図られるよう、担任等へ助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、健康相談や教育相談の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>外部との連携・折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。 ・情報発信や広報、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健部会等の校務分掌等で、担当として外部機関との情報共有を行ったり、外部機関との連携を図ったりする。 ・外部機関との取組についての課題や改善策を会議等で提案するとともに、保健室だより等を通して情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、適切な情報発信や情報収集の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生

<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。 学校の状況や児童・生徒の実態を踏まえて保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。 児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健部会等、校務分掌の中で責任者となる役割を担い、若手教員に指導・助言をする。 担当する校務分掌の課題や改善策等を会議等で提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、計画的な業務の進め方の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中堅教諭等資質向上研修 I 専門性向上研修【I】 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育の基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中堅教諭等資質向上研修 I・II 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生
<p>デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康課題の把握に役立てることができる。 児童・生徒の健康上の課題を見だし、保健教育に生かすために、教育データや保健室の情報の活用について、初任者等に指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について積極的に取り組み、提案する。 健康観察の充実や健康診断データの管理など、教育データや保健室を活用した保健管理について提案するとともに、若手教員に指導・助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、デジタル技術の活用等の基礎・基本や具体的な方策について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中堅教諭等資質向上研修 I・II 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、会議等で課題解決のための提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題の解決に向けた具体的な方策に関する基礎・基本を学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中堅教諭等資質向上研修 I・II 専門性向上研修【I】 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生

(5) 教員研修計画「栄養教諭」

【栄養教諭】

求められる能力や役割

- 食に関する指導を推進するとともに、学校栄養職員としての知識や経験に基づき、同僚や教諭等、及び地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。
- 食に関する指導や学校給食の管理における栄養教諭としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。

指 標	O J T	Off - J T
学習指導力・学校給食の管理に関する力 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解することができる。 ・学級担任等と連携し、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行い、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に応じることができる。 ・学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識・技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会等の中で、栄養教諭の専門性を生かした提案をしたり、意見を述べたりする。 ・指導教諭等、他の教員の授業を参観する。 ・学級担任等と連携して、目的や実態に合わせて、食に関する指導に参画する。 ・学校給食の管理について先輩教員から学んだり、グループで協議したりする。 ・地区内の食育リーダー等からの相談に対して、栄養教諭の専門性を生かして的確に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、食育推進及び学校給食の管理についての基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】
生活指導力・進路指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・食に関して特別の配慮を必要とする児童・生徒に対し、校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別的な指導を行うことができる。 ・生活指導上の課題に直面した際、他の教員に相談しながら解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導主任や進路指導主任等による講義や助言を受ける。 ・校務分掌の部会等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、生活指導や進路指導の内容・方法の基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】
外部との連携・折衝力 <ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。 ・課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員等から連携や折衝の方法等について指導・助言を受けながら業務を遂行する。 ・保護者や関係機関等との打合せに同席し、実際の対応の仕方について知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、保護者対応や地域・関係機関との連携の際の接遇マナーの基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】

<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校及び教職の意義、社会的役割・サービスの厳正に努め、組織の一員として校務に積極的に参画することができる。 ・食に関する指導の全体計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案することができる。 ・児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の部会等で、分掌主任等から進行計画の立案や進捗状況の報告、振り返りなどの指導や助言を受けながら業務を遂行する。 ・校務分掌の部会等で、自分の担当した職務について、指導を受けながら、校務に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、食に関する指導の全体計画の活用を踏まえた組織的な業務の進め方の基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅰ】
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、特別支援教育の基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ
<p>デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の食に関する指導や学校給食の管理を効果的・効率的に進めることができる。 ・教育データを活用し、児童・生徒の食育や生活指導に生かしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について主任教諭や指導教員等の授業を参観する。 ・教育データを活用した児童・生徒の食育や生活指導について先輩教員から学んだり、グループで協議したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、デジタル技術の活用等の基礎・基本や具体的な方策について学ぶ。 【研修例】 ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員等から助言を受け、教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして、課題に対する知見をもって主体的に対応できるように知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修（栄養教諭）等で、教育課題への対応についての基礎・基本を学ぶ。 【研修例】 ・新規採用者研修（栄養教諭） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・専門性向上研修【Ⅰ】

(6) 教員研修計画「主任教諭」

求められる能力や役割

- 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。
- 教育指導の専門性を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。

指 標	OJT	Off-JT
<p>学習指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、学習者中心の授業をすることができる。 ・同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 ・授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の研究会等で積極的に提案授業等を行う。 ・教員の授業を定期的に観察し、助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教科等に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 ・区市町村教育委員会の研究会や、東京都教育委員会研究推進団体等の授業研究に参加し、助言する。 ・指導教諭の模範授業やその後の協議会等に参加する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・東京教師道場（部員・リーダー） ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・英語力向上研修(ONEDAY・応用) ・英語力UP研修 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・教育研究員
<p>生活指導力・進路指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 ・児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。 ・児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員に日頃から声を掛け、各学年の状況と課題を把握し、管理職や主幹教諭等に報告する。 ・地域や保護者からの外部アンケートや、保護者会等で出された課題を収集し整理し、管理職や主幹教諭等に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、生活指導や進路指導に関する具体的な指導上の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>外部との連携・折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開や保護者会などの運営や外部機関や異校種間連携に係る研究会等の企画や運営を行う。 ・外部機関との交渉担当を経験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、外部との連携に関する具体的な工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生

		<ul style="list-style-type: none"> ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座
<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。 ・学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭等の助言を受け、学校評価の目標の達成状況についてまとめ、会議等で報告する。 ・校内研究や研修会等の司会を担当し、論点などの整理等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、組織的な業務の進め方の具体的な工夫について学ぶ。 【研修例】 ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター等と連携を図り、学習上・生活上の配慮や支援の充実など、一人一人の特性に応じた対応を提案するとともに、担任等へ助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 【研修例】 ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>デジタルや情報・教育データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に関する、適切な指導計画を作成し授業実践等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。 ・児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術や情報活用能力の育成を念頭に置いて業務を遂行したり、若手教員の授業を参観して指導・助言したりする。 ・教育データを活用して学習指導や生活指導の充実に向けた業務を遂行するとともに、活用方法を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 【研修例】 ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、同僚や教員に対して適切な助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 【研修例】 ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生

(7) 教員研修計画「主任養護教諭」

【主任養護教諭】

求められる能力や役割

- 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。
- 専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。

指 標	O J T	Off-J T
学習指導力・保健管理に関する力 <ul style="list-style-type: none"> ・同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 ・児童・生徒の健康状況を把握し、保健管理を適切に行い、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会等の中で、養護教諭の専門性や、保健室経営の視点から、児童・生徒の特性を生かした提案をしたり、意見を述べたりする。 ・国や社会の動きを踏まえ、学級担任等と連携して保健指導や保健の授業に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し保健教育の指導方法及び保健管理等に関する具体的な工夫について学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修 I ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・英語力向上研修(ONEDAY・応用) ・英語力 UP 研修 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・教育研究員
生活指導力・進路指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。 ・自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 ・児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の生活指導上の問題等を踏まえ、外部専門家と連携を図るなどしながら、個に応じた保健指導や相談活動を行う。 ・スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーター等と連携を図り、教育相談的な対応の充実を図るなどして、一人一人の特性に応じた対応が図られるよう、担任等へ助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、健康相談や教育相談に関する具体的な工夫について学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修 I ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
外部との連携・折衝力 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健部会等の校務分掌等で、担当として外部機関との情報共有を行ったり、外部機関との連携を図ったりする。 ・外部機関との取組の課題や改善策を会議等で提案するとともに、保健室だより等を通して情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、外部との連携に関する具体的な工夫について学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修 I ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座

<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。 学校の健康課題を解決するために、保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。 学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健部会等、校務分掌の中で責任者となる役割を担い、若手教員に指示をする。 担当する校務分掌の課題や改善策等を会議等で提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修に参加し、組織的な業務の進め方の具体的な工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任教諭任用前研修 主任教諭任用時研修 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 専門生向上研修【Ⅱ】 大学院派遣研修 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生 学校リーダー育成特別講座 学校マネジメント講座
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーター等と連携を図り、学習上・生活上の配慮や支援の充実など、一人一人の特性に応じた対応を提案するとともに、担任等へ助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任教諭任用前研修 主任教諭任用時研修 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ 大学院派遣研修 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生
<p>デジタルや情報・教育データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を適切に活用して児童・生徒の健康課題を把握し、適切な指導計画を作成して保健指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。 児童・生徒の学習改善を図ったり、保健教育や生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術や教育データを活用した保健管理の充実に向けて業務を遂行するとともに、活用方法を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任教諭任用前研修 主任教諭任用時研修 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ 大学院派遣研修 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、会議等で課題解決のための提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任教諭任用前研修 主任教諭任用時研修 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ 専門生向上研修【Ⅱ】 大学院派遣研修 教職大学院派遣研修 東京都教員研究生

(8) 教員研修計画「主任栄養教諭」

【主任栄養教諭】

求められる能力や役割

- 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。
- 専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行い、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担うことができる。

指 標	O J T	Off - J T
学習指導力・学校給食の管理に関する力 <ul style="list-style-type: none"> ・同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。 ・専門的な知識・技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。 ・地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うとともに、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会等の中で、栄養教諭の専門性を生かした提案をしたり、意見を述べたりする。 ・指導教諭等、他の教員の授業を参観する。 ・学級担任等と連携して、目的や実態に合わせて、食に関する指導に参画するとともに、解決策を提案する。 ・学校給食の管理について先輩教員から学んだり、グループで協議したりする。 ・地区内の食育リーダー等からの相談に対して、栄養教諭の専門性を生かして的確に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、食育推進及び学校給食の管理に関する具体的な工夫について学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修 I ・専門性向上研修【II】 ・英語力向上研修(ONEDAY・応用) ・英語力 UP 研修
生活指導力・進路指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。 ・児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。 ・児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導主任や進路指導主任等による講義や助言を受ける。 ・校務分掌の部会等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、生活指導や進路指導に関する具体的な指導上の工夫について学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修 I ・専門性向上研修【II】
外部との連携・折衝力 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職等から連携や折衝の方法等について指導・助言を受けながら業務を遂行する。 ・保護者や関係機関等との面談に同席し、実際の対応の仕方について知識・理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、外部との連携に関する具体的な工夫について学ぶ。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修 I ・専門性向上研修【II】 ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座

<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。 ・学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の部会等で、分掌主任等から進行計画の立案や進捗状況の報告、振り返りなどの指導や助言を受けながら業務を遂行する。 ・校務分掌の部会等で、自分の担当した職務について、指導を受けながら、校務に参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修に参加し、組織的な業務の進め方の具体的な工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ ・専門性向上研修【Ⅱ】 ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター等と連携を図り、学習上・生活上の配慮や支援の充実など、一人一人の特性に応じた対応を提案するとともに、担任等へ助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ
<p>デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を適切に活用して児童・生徒の食に関する課題を把握し、適切な指導計画を作成して食に関する指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。 ・児童・生徒の学習改善を図ったり、食育や生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術や教育データを活用した食育や生活指導の充実に向けて業務を遂行するとともに、活用方法を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、会議等で課題解決のための提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題に関する具体的な指導の工夫について学ぶ。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭任用前研修 ・主任教諭任用時研修 ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ ・専門性向上研修【Ⅱ】

(9) 教員研修計画「指導教諭」

求められる能力や役割

- 都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。
- 高い専門性と優れた指導力を活用し、自校や他校の教員の人材育成を推進することができる。

指 標	OJT	Off-JT
<p>学習指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模範となる自らの授業を積極的に公開するとともに、自校や他校の求めに応じて授業を観察し、指導・助言をすることができる。 ・教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の教科部会や校内研究等において、指導・助言を行う。 ・都内公立学校の教員全体の「授業力」を向上させるため、先駆的な模範授業を実施し、公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教科等の指導方法の講師として、参加者への指導・助言を行う。 ・区市町村教育委員会の研究会や東京都教育委員会研究推進団体等で、他校の教員の授業研究に参加し、助言する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・東京教師道場（リーダー） ・専門性向上研修【Ⅲ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・教育研究員 ・研究開発委員
<p>生活指導力・進路指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。 ・児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生活指導・進路指導の課題を捉え、改善策を示す。 ・各学年、学級の指導状況を把握し、実態に応じて複数の教員で指導を行うなど体制づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、生活指導や進路指導に関する専門的な知識及び理解を深める。 ・地区の研修会で、生活指導や進路指導についての講師を務め、地区全体の課題解決を図る。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門性向上研修【Ⅲ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p>外部との連携・折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者との連絡会に出席したり、会の企画や運営等を行ったりする。 ・学校行事や地域行事等を協働して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、外部との連携に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門性向上研修【Ⅲ】

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座
<p style="text-align: center;">学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、指導力の向上に関する教員の人材育成を推進することができる。 ・学校組織マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して、校長の指示の下、学校運営することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会等の企画や運営等を行う。 ・学校評価の重点事項等について分析し、改善策を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、組織的な業務の進め方に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門性向上研修【Ⅲ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生 ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座
<p style="text-align: center;">特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。 ・特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育について課題を捉え、主任教諭等への指導・助言や発信を行う。 ・特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働するとともに、連絡会等の企画や運営等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p style="text-align: center;">デジタルや情報・教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に向けた模範となる授業を実施することができる。 ・児童・生徒の学習改善を図るために、教育データを活用した授業を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に向けた先駆的な模範授業を実施し、公開する。 ・児童・生徒の学習改善を図るための、教育データを活用した先駆的な模範授業を実施し、公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、デジタル技術の活用等に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生
<p style="text-align: center;">教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育課題について、課題を明確にし、研修会等の機会を通して教員の対応力向上に関して適切に指導・助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭任用時研修 ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門性向上研修【Ⅲ】 ・大学院派遣研修 ・教職大学院派遣研修 ・東京都教員研究生

(10) 教員研修計画「主幹教諭、主幹教諭（養護）、主幹教諭（栄養）」

求められる能力や役割

- 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。
- 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。

指 標	OJT	Off-JT
学習指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。 ・教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年・全教科等にわたる課題を整理し、学校全体の年間指導計画や授業改善推進プラン等の作成を学年主任等と連携して行い、企画調整会議で提案する。 ・大学院派遣研修* ・教職大学院派遣研修* ・東京都教員研究生* ・教育研究員・研究開発委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、各教科等の専門的な知識及び理解を深める。 ・他校の教員の授業研究に参加し、助言する。 <p>〔研修例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(教務) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・東京教師道場（リーダー） ・専門生向上研修【Ⅲ】
生活指導力・進路指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。 ・児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、児童・生徒、保護者アンケートを実施し、生活指導・進路指導上の課題を整理し、まとめ、改善策を提案する。 ・学年主任と協働して、自校の進路指導計画を作成し、実施する。 ・大学院派遣研修* ・教職大学院派遣研修* ・東京都教員研究生* 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、生活指導や進路指導に関する専門的な知識及び理解を深める。 ・地区の研修会で、生活指導や進路指導についての講師を務め、地区全体の課題解決を図る。 <p>〔研修例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(生活指導、進路指導) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門生向上研修【Ⅲ】
外部との連携・折衝力 <ul style="list-style-type: none"> ・他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。 ・保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部アンケートや関係機関等との連絡会を通して課題を把握し、改善策を企画調整会議等で提案し、対応する。 ・学校案内等のパンフレット等の改訂を定期的に行う。 ・教職大学院派遣研修* ・東京都教員研究生* ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、外部との連携に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>〔研修例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(教務、生活指導、進路指導) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門生向上研修【Ⅲ】 ・大学院派遣研修*

<p>学校運営力・組織貢献力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。 ・学校組織マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して、校長の指示の下、学校運営することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成に際し、授業時数や行事の精選を提案する。 ・学校評価の重点事項等について分析し、改善策を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、組織的な業務の進め方に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(教務、生活指導、進路指導) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門生向上研修【Ⅲ】 ・大学院派遣研修* ・教職大学院派遣研修* ・東京都教員研究生* ・学校リーダー育成特別講座 ・学校マネジメント講座
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。 ・特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働し、組織的対応を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育について課題を捉え、主任教諭等への指導・助言や発信を行う。 ・特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、保護者や外部の関係機関等と協働するとともに、連絡会等の企画や運営等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、特別支援教育に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(教務、生活指導、進路指導) ・大学院派遣研修* ・教職大学院派遣研修* ・東京都教員研究生*
<p>デジタルや情報・教育データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の効果的な活用等に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の育成に向けた学校全体での体系的な指導を推進することができる。 ・教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の効果的な活用のための課題を整理し、改善策を提案するとともに、蓄積された教育データを活用し、個々の資質・能力を最大化するために学校全体として取り組む研修を企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、デジタルの活用等に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(教務、生活指導、進路指導) ・大学院派遣研修* ・教職大学院派遣研修* ・東京都教員研究生*
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育課題について、課題を明確にし、研修会等の機会を通して教員の対応力向上に関して適切に指導・助言する。 <p>・大学院派遣研修*</p> <p>・教職大学院派遣研修*</p> <p>・東京都教員研究生*</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修等に参加し、教育課題に関する専門的な知識及び理解を深める。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭任用時研修 ・主幹教諭スキルアップ研修 ・主任研修(教務・生活指導、進路指導) ・教育行政研修 ・教育管理職候補者 B 養成講座 ・専門生向上研修【Ⅲ】

*〔主幹教諭(栄養)を除く〕

主幹教諭(養護)、主幹教諭(栄養)については、養護、栄養に関する専門的な内容は養護教諭、栄養教諭から継続している。

(11) 教員研修計画「教育管理職候補」(主幹教諭)

求められる役割

- 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。
- 教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。
- 学校内外との良好なコミュニケーションを実践し、学校の教育力を高める方策を提案する。

指 標	OJT	Off-JT
<p>学校経営力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。 ・校務分掌を越えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、管理職に提示することができる。 ・コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長・副校長からの指導・助言を受けながら、各分掌の進捗状況や課題等を把握し、効果的・効率的な校務の推進についての案を作成し、企画調整会議等で提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進する組織マネジメントについての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修 (A1年次～4年次、B研修 I・II、C研修) ・専門性向上研修【IV】 ・教職大学院派遣研修
<p>外部折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長や副校長と共に、地域・保護者からの意見・要望を聞く場面に立ち会い、適切な対応の仕方について学ぶ。 ・校長や副校長からの助言を受け、外部指導員や学習支援ボランティア等、学校の教育活動に協力できる人材の発掘にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進する外部折衝についての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修 (A1年次～4年次、B研修 I・II、C研修) ・専門性向上研修【IV】 ・教職大学院派遣研修
<p>人材育成力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。 ・学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長や副校長と共に授業観察を行い、授業観察シート等に授業の様子を記録し、授業者に助言する。 ・校長からの求めに応じて、教員の授業実践や校務分掌等の取組状況について意見を述べるができるよう、記録を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた人材育成や人事考課についての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事任用時研修 ・教育管理職候補者研修 (A1年次～4年次、B研修 I・II、C研修) ・専門性向上研修【IV】 ・教職大学院派遣研修

<p>教育者としての高い見識</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策について正しく理解し、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都及び所属する区市町村教育委員会の教育施策について学び、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた教育施策についての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導主事任用時研修 教育管理職候補者研修（A1年次～4年次、B研修I・II、C研修） 専門性向上研修【IV】 教職大学院派遣研修
<p>特別な配慮や支援への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーター等と連携し、特別な配慮や支援が必要な子供の状況をつかみ、校長や副校長から指導を受けながら、具体的な方策を企画調整会議等に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた特別支援教育についての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育管理職候補者研修（A1年次～4年次、B研修I・II、C研修） 教職大学院派遣研修
<p>デジタルや教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 副校長と共に、授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案することができる。 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校長・副校長からの指導・助言を受けながら、各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、デジタルの利活用の効果的な取組をまとめ、デジタル化の推進に向けた方策を企画調整会議等に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた、働き方改革に生かすデジタルの活用等についての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育管理職候補者研修（A1年次～4年次、B研修I・II、C研修） 教職大学院派遣研修
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的かつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応する。 校長や副校長からの指導を受け、課題解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育管理職候補者研修等で、学校経営の視点に基づいた教育課題についての知識を習得する。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導主事任用時研修 教育管理職候補者研修（A1年次～4年次、B研修I・II、C研修） 専門性向上研修【IV】 教職大学院派遣研修

(12) 教員研修計画「教育管理職」(副校長)

求められる能力

- 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を運営する。
- 教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。
- 学校内外とのコミュニケーションの中心的役割を担い、学校の教育力を高める。

指 標	O J T	Off-J T
学校経営力 <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。 ・学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長と共に教職員に課題等を提示し、解決することができる。 ・様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 ・緊急時にお適切に判断し、課題解決のための中心的役割を担うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭や各分掌の主任等から学校によさや課題等を引き出し、課題解決のための提案、働き方改革の具体案を提案させ、学校経営計画の原案を作成し、校長に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進する組織マネジメントについての理解を深める。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・専門性向上研修【IV】
外部折衝力 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長と共に、地域・保護者からの意見・要望を聞く場面に立ち会い、適切な対応の仕方について学ぶ。 ・校長と共に、外部指導員や学習支援ボランティア等、学校の教育活動に協力できる人材の発掘にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進する外部折衝についての理解を深める。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修 ・校長職候補者研修 ・教職員等中央研修
人材育成力 <ul style="list-style-type: none"> ・校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。 ・教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やO J T等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長と共に授業観察を行い、授業観察シート等に授業の様子を記録し、人事考課の面接時に教職員の指導にあたる。 ・教員の日常の職務実績記録を作成し、業績評価に資する資料を作成し、校長に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた人材育成や人事考課についての理解を深める。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・専門性向上研修【IV】
教育者としての高い見識 <ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者等のニーズを把握し、教育課題や教育施策に関する見識を生かし、校長の学校経営方針を具現化することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都及び在職する区市町村教育委員会の教育施策について理解する。 ・地域・保護者の学校に対する思いやニーズを把握する方法を校長に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた教育施策についての理解を深める。 【研修例】 <ul style="list-style-type: none"> ・副校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・統括指導主事研修 ・専門性向上研修【IV】

<p>特別な配慮や支援への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭や特別支援教育コーディネーター、各分掌の主任等から現状の課題や課題解決のための提案を引き出し、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応に関する具体的方策を作成し、校長に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた特別支援教育についての理解を深める。 <p>〔研修例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 副校長研修 統括指導主事研修
<p>デジタルや教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を策定し、教職員に示すことができる。 デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な授業観察や主幹教諭、分掌主任等から校内のデジタル・教育データの利活用の実態を把握し、校務の効率化による働き方改革の具体案を主幹教諭と共に作成し、校長に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進するデジタルの活用等についての理解を深める。 <p>〔研修例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 副校長研修 統括指導主事研修
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的かつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の教育課題についての高い見識をもち、自校の教育目標の実現に向けて適切に対応する。 課題解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 副校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた教育課題についての理解を深める。 <p>〔研修例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 副校長研修 人事考課評価者訓練 統括指導主事研修 専門性向上研修【IV】

(13) 教員研修計画「教育管理職」(校長)

求められる能力

- 学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。
- 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。
- 学校内外との良好なコミュニケーションを推進して、学校をとりまく関係者の相互作用により、学校の教育力を最大化する。

指 標	O J T	Off-J T
<p>学校経営力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。 ・学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。 ・様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。 ・緊急時には適切に判断し、迅速な対応を行うことにより状況を打開することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の「強み」と「弱み」を明らかにするとともに、学校を取り巻く外部環境の特徴を把握する。その上で、強みを伸ばし課題を解決するための方策、教職員の働き方改革の推進、特色ある学校づくり等に向けた戦略を構築し、学校経営計画を教職員に周知して学校経営に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進する高い判断力を身に付ける。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・校長職候補者研修 ・専門性向上研修【IV】
<p>外部折衝力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会や学校評議員、保護者からの要望や評価を的確に把握し、確実に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進する優れた外部との連携・協働の在り方を身に付ける。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・校長職候補者研修 ・専門性向上研修【IV】
<p>人材育成力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。 ・教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やO J T等を推進して教職員の自律的な成長を促し、人材育成を活性化することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の業績評価等から昇任候補者等についてデータベース化を図るなど人材発掘を行う。 ・各教員の適性をつかみ、各教員のキャリアプランを共に考え、研修受講について奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた優れた人材育成の手法を身に付ける。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長研修 ・人事考課評価者訓練 ・校長職候補者研修 ・専門性向上研修【IV】

<p>教育者としての高い見識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の変化を的確に捉え、教育に対する地域、保護者等都民の期待やニーズを把握し、中長期的視点と教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都教育委員会や区市町村教育委員会等の教育理念を踏まえ学校経営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた教育施策の具現化に向けた実践力を身に付ける。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修 ・ 人事考課評価者訓練 ・ 校長職候補者研修 ・ 専門性向上研修【IV】
<p>特別な配慮や支援への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編制を行い、組織全体で推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応に関する課題を整理するとともに解決するための戦略を構築し、学校の経営計画の原案を作成し、学校経営に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた特別支援教育についての理解を深めるとともに、実践に生かす。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修 ・ 校長職候補者研修
<p>デジタルや教育データの利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。 ・ デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編制を行い、点検・評価し、改善することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルの利活用による教育活動の質的向上と働き方改革を実現する校務の効率化を推進し、課題を解決するための戦略を構築して学校経営に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた、働き方改革を推進するデジタルの活用等についての高い見識を身に付ける。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修 ・ 校長職候補者研修
<p>教育課題に関する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき課題や優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自校の教育課題についての高い見識をもち、教育目標の実現に向けて適切に対応する。 ・ 課題解決に向けた学校経営計画を策定し、適材適所の人事管理と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修等に参加し、学校経営の視点に基づいた教育課題についての高い見識を身に付ける。 <p>【研修例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長研修 ・ 人事考課評価者訓練 ・ 校長職候補者研修 ・ 専門性向上研修【IV】

5 自己啓発についての参考資料

(1) 教員及び教育管理職としての専門性向上に関するもの

ア 東京都教育委員会に関係するホームページの活用

東京都教育委員会	https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/
多摩教育事務所	https://www.tamajimu.metro.tokyo.lg.jp/
東京都教職員研修センター	https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/
東京都教育相談センター	https://www.e-sodan.metro.tokyo.lg.jp/
東京都立図書館	https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/
東京都埋蔵文化財センター	https://www.tef.or.jp/maibun/index.jsp

等

イ 東京都教育委員会等が発行する資料・報告書等の活用

【資料等】

教育指導プログラム（人権教育プログラム等）、ICT等の活用資料、実践事例集、
サービスガイドライン等のガイドライン、学校問題解決のための手引 等

【報告書】

教育課題研究、教員研究生報告書、教育研究生報告書、研究開発委員会指導資料集、
大学院派遣研修・教職大学院派遣研修報告書、東京都教職員研修センター紀要等

https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/11center_info/kyoshokuin/index.html

ウ 文部科学省が発行する資料・報告書等の活用

学習指導要領等とその解説、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する資料
生徒指導提要、協力者会議や専門家会議の議事録、

答申、種々の調査、統計、通知、ガイドライン、解説 等

エ 専門学会誌、専門雑誌、専門書、道府県教育委員会報告書等の活用

学習指導、生活指導・進路指導、学級経営、学校経営、発達心理 等

オ 各種研究会等への参加・発表

「東京都教育委員会研究推進団体」が行う計画研究会等への参加 等

(参考) 東京都教育委員会研究推進団体一覧

<https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/08ojt/fukyu/index.html>

(2) 東京都職員としての資質向上に関するもの

- ア 東京都に係る報告書等
東京都公式ホームページ <https://www.metro.tokyo.lg.jp/>
広報東京都、東京防災等
- イ 専門書等による学び
地方行財政、コーチング、リスクマネジメント、組織マネジメント等
- ウ 企業セミナー等への参加
コーチング、リスクマネジメント、組織マネジメント等

(3) 東京都教職員研修センターでの自己啓発の支援に関するもの

- ア 教育資料閲覧室
<https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/08ojt/library/index.html>
(閲覧できる資料)
 - ・研究紀要・報告書
 - ・教科書（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）
 - ・教育関係図書
 - ・教育関連雑誌
 - ・新聞
- イ 「マイ・キャリア・ノート」掲載の「一人1台の学習者用端末の活用事例」検索サイト
 - ・各教科等における活用場面（全校種）
 - ・関連外部サイトへのリンク集
- ウ 「マイ・キャリア・ノート」掲載の研修動画
 - ・学習指導要領のポイント（小学校）
 - ・学習指導要領のポイント（中学校）
 - ・学習指導要領のポイント（高等学校）
 - ・教科等
 - ・教育課題等
 - ・その他
- エ 研修動画「ベーシックスキルレッスン」
https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/basicskill_lesson.html
 - ・授業スキル
 - ・学級経営
 - ・その他（授業で活用できる手話等）
- オ 研修室の平日夜間・土曜使用

(4) その他

- ア 地域活動等への参加による郷土や公共に関する理解促進
- イ 地域行事等への参画による豊かな人間性の向上